

木造住宅フォーラム

開催報告【建築住宅課】

平成28年11月21日(火)～22日(水)



木造住宅に関する全国大会であるこのフォーラムは、木造住宅の普及促進が地域活性化やまちづくりに繋がっていることを体感してもらえる内容を目指し、紫波町のオガール紫波で開催しました。

初日は、エコハウスの推進に携わった「みかんぐみ」の竹内昌義氏、「オガール紫波」の岡崎正信氏、「Dot プロジェクト」の長土居正弘氏と、地元建築業者から「藤建ハウス」中野夕希氏、「作松建設」の作山良枝氏に登壇いただき、紫波町が取り組んでいるエコタウンの取組を中心に、木造住宅の省エネ化と紫波町産材の利活用、またこれらを推進することによる地域産業の活性化について講演やパネルディスカッションを行いました。

2日目は、1日目に紹介したエコタウンや地域熱供給の施設見学のほか、紫波町産材を切り出す山林から木材流通センター、製材所を巡りエコタウンに戻ってくるという「日本一短いウッドマイルズ体感ツアー」を行い、紫波町産材を活用した家づくりを行った場合の木の流通ルートを体感してもらいました。

今回のフォーラムでは、省エネ住宅の普及やまちづくりといった取組を、携わっている人たちから説明していただいたことや、山、木、住宅や町並みなど、参加者が直接目で見て、肌で感じる事ができたことにより、大変充実した内容となったものと思います。

